

ご成人、おめでと〜ございます

令和三年度 四国中央市 成人式

1月9日（日）、「令和三年度四国中央市成人式」が、しこちゅくホール（市民文化ホール）で行われました。

今年度は、平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの867人（男性470人、女性397人）が成人を迎えました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から二部制で行われた成人式には、凛々しいスーツや羽織袴、晴れやかな振袖に身を包んだ新成人562人が出席し、新たな門出を祝いました。

式典では、篠原市長や来賓の方々から成人としての心構えや激励の言葉が贈られた後、小・中・高校時代の学校行事をまとめた映像が流れると、新成人は学校生活の日々を振り返り、当時を懐かしんでいたため、川之江高校書道部が揮毫したメッセージが展示されました。

例年とは異なる成人式となりましたが、新成人の皆さんは未来への希望を胸に、大人としての第一歩を踏み出しました。四国中央市で生まれ育った新成人たちの今後の活躍が期待されます。



新成人「誓いのことば」

三島・土居地域代表
藤原啓汰さん



現在私は、生まれ育ったこの町「四国中央市」の消防士として、日々仕事に励んでいます。災害現場の最前線に立ち、一人でも多くの傷病者、要救助者の命を救いたいという思いで活動しています。人命に関わる仕事の中で、辛いことや苦しいことも乗り越え、仕事のもつ重みや責任感を感じながらも、この職に誇りを持ち、これが私を育ててくださったこの町に対する恩返しであるというやりがいも感じており、大変充実した毎日を送っています。

社会の一員としての自らの行動に責任をもち、切磋琢磨しながら努力を続けていきたいと思っています。感謝の気持ちと、新成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきます。

川之江・新宮地域代表
薦田花音さん



私は、現在親元を離れて大学の理工学部で環境応用化学を学んでいます。化学の基礎を学びながら、「化学をどのように社会に役立てるか」に重点を置き、未来へのテクノロジーを追及し、日々勉学に励んでいます。真鍋淑郎博士のエールに感銘を受け、大学卒業後も、興味のある分野で研究を続け、環境に優しい未来づくりに貢献したいと思っています。そして、生まれ育ったこの四国中央市に恩返しできるように、日々精進していきたく思います。

成人として晴れの門出を迎えた今、大人としての自覚と責任をしっかりと持ち、四国中央市の新成人として恥じない人生を歩むことをここに誓います。